

◇昭和24年(1949年)



学校だより



令和6年度 9月号

発行日 令和6年9月2日

発行者 板橋区立板橋第十小学校

ホームページ <http://www.ita.ed.jp/edu/ita10es/> TEL:03-3956-8110 FAX:03-5995-8343

板十小は75歳です

校長 野崎 徳道

本日より2学期がスタートします。子どもたちの安全・安心を第一に、楽しく充実した学校生活となるよう引き続き努めてまいります。

さて、タイトルにも記載させていただいたとおり、本校は、今年で創立75周年となります。10周年や20周年など、一の位に「0」が付く時にお祝いの行事（周年行事）を実施する場合がありますが、それですと周年行事を経験しない児童がいることとなります。そこで、PTAからのご協力もいただきながら、全校児童で創立75周年をお祝いする行事を今年度中に実施予定です。

せっかくの機会ですので、板十小の歴史と校章について少し紹介いたします。

◇昭和24年(1949年)、板六小の分教場として完成し、同年中に板橋第十小学校として独立。

◇昭和34年4月ごろは児童数1,491名となり当時区内第二の大校となる。

◇(校章は)桜の花を台にして、板橋第十の「十」を中央にすえ、それに重ねて「小」の字を配している。花卉も文字も、できるだけ、ふっくらとした感を持っているのは子どもの成長を意味している。

『板橋区 教育百年のあゆみ』より

板十小は約630名の児童が在籍していますが、過去には2倍以上の児童が在籍していたと知り驚きました。あふれんばかりの子どもたちが、教員と黒板を見つめて学習に励んでいた様子を想像しました。また、当時は、教員が子どもの指導・支援を一手に引き受け、教員以外の方が関わることはあまりなかったことと思います。

改築されたばかりの現在の板十小は、教室と廊下の間に壁はなく、また学年ごとにオープンスペースが設けられています。タブレットパソコン片手に、相手や場所を自由に選びながら主体的に学習する子どもたちの姿が日常的に見られます。また、板十小では、教職員だけでなく、板十小ONEチーム（CS委員、10サポ、PTA、寺子屋・親路会、同窓会、町会・自治会 等）の方々が、積極的に子どもたちを支援してくださっています。

社会状況の変化に応じて、授業の様子や子どもに関わる方々も変化してきたことを思い返すことができました。

同時に、校章に込められた、子どものよりよき成長への願いは、今も昔も変わらないことも思い返せました。

子どもたちが 板十小に通ってよかった
保護者の方々が 板十小に通わせてよかった
地域の方々が 板十小があってよかった
教職員が 板十小に勤めてよかった